

レジオネラ属菌が検出されたら

レジオネラ属菌が検出されたらすぐに保健所に相談しましょう。

どうしても自粛が困難で使用を継続する場合は、細心の注意が必要です。使用を継続するリスクを考慮し、今一度自粛を検討しましょう。

気泡発生装置があれば、直ちに停止しましょう。

浴槽の使用を 中止する。 可能な限り毎日、同一循環系統浴槽水の完全換水を実施し、その都度、浴槽、ろ過装置及び配管の清掃及び高濃度塩素(5~10mg/L・数時間循環、一晩放置が望ましい)又は、高温(60℃以上・数時間)による消毒を実施しましょう。

残留塩素濃度を1. Omg/Lに保ちましょう。

高濃度塩素*(40~50mg/L・5~8時間循環)、過酸化水素*(3%・3~4時間循環)等により配管等の生物膜の除去を実施しましょう。

自主検査を実施し、「レジオネラ属菌が検出されないこと」を確認 しましょう。

検出されない場合(*1)は対策は終了です 保健所に連絡しましょう。(*1)10CFU/100mL## 検出された場合(※2)

R7.4版

*高濃度塩素、過酸化水素使用後は中和剤による中和処理が必要です。必ず中和処理をして排水しましょう。

保健所の連絡先

保健所名	管轄市町村	電話番号
岡山県備前保健所	玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・ 和気町・吉備中央町	(086) 272-4038
岡山県備中保健所	笠岡市・井原市・総社市・浅口市・ 早島町・里庄町・矢掛町	(086) 434-7027
岡山県備北保健所	高梁市•新見市	(0866) 21-2837
岡山県真庭保健所	真庭市•新庄村	(0867) 44-2918
岡山県美作保健所	津山市・美作市・鏡野町・勝央町・ 西粟倉村・久米南町・美咲町・奈義町	(0868) 23-0133

入浴施設でレジオネラ症を 発生させないために



レジオネラ症について

©岡山県マスコット「ももっち」

レジオネラ症とは、レジオネラ属菌が引き起こす感染症です。重症化し死亡例もある**レジオネラ肺炎**と、数日で自然治癒する場合が多いポンティアック熱に分けられます。

レジオネラ症の病型

	レジオネラ肺炎	ポンティアック熱
症状	高熱、呼吸困難、 筋肉痛、吐き気、 下痢、意識障害	発熱、寒気、 筋肉痛
特徴	急激に重症化 死亡する場合もある	ー般に軽症 数日で治る場合が多い



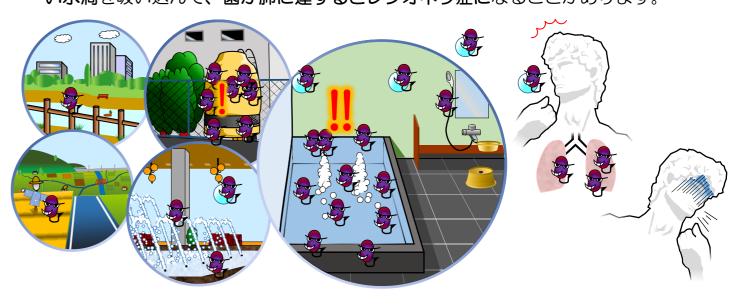
レジオネラ症患者数及び死亡者数 (人口動態調査及び感染症発生動向調査事業年報より)

レジオネラ属菌について

レジオネラ属菌は、自然界の土や水の中に広く生息している細菌で、一般に 36℃前後で最もよく増え、20~50℃の範囲で増殖できると言われています。 水のある場所で、消毒や清掃が十分でないとぬめり(生物膜)ができます。レジ オネラ属菌はこの中で繁殖します。

身の回りでは、循環式浴槽水や冷却塔水などから度々検出されます。

レジオネラ属菌に汚染された浴槽水などから発生した、**目に見えないような細かい水滴**を吸い込んで、**菌が肺に達するとレジオネラ症に**なることがあります。





各設備における管理方法・消毒方法

レジオネラ属菌の住みかとなる**ぬめり(生物膜)**が出来ないよう、日常の維持管理 をしっかりとすることがレジオネラ症防止対策の基本です。

また、維持管理の記録はきちんと残しておきましょう。

調節箱を設置している場合、 生物膜の状況を確認し、 必要に応じて清掃・消毒

水位計を設置している場合、 配管等は週に1回以上消毒

貯湯槽内の原湯は60℃以上 に保つ(これにより難い場 合は、消毒装置を設置し、 適官清掃•消毒)

循環水の吐出口は

浴槽の底部に近い

気泡発生装置

位置に設ける

貯湯槽

貯水槽

加

熱

器

ぬめり(生物膜)が発生しやすい場所 維持管理記録を3年間保存する

滞留水

ポン

ろ過器の維持管理

◇砂式は逆洗浄・消毒 (週1回以上を目安)

ろ

過

器

◇珪藻土、カートリッジ式は、 ろ材を定期的に交換

消毒

装置

消毒装置の作動確認

◇ノズルに詰まりがないか、 エア噛みをしていないか 確認

カゴと本体内部を

清掃・消毒(毎日)

浴槽水は常に 満杯状態を保つ

滞留水

オーバーフロー水 (あふれた湯) は 再利用しない

シャワー設備の維持管理

◇通水は週に1回以上 ◇点検は6ヶ月に1回以上

◇洗浄・消毒は1年に1回以上

原湯・原水は浴槽水の 水面より上の位置から 注入する

浴槽水は毎日完全換水及び浴槽の清掃・消毒 (循環式浴槽は週1回以上(気泡発生装置又はジェット噴射装 置に使用する浴槽水は毎日換水)) 浴槽水の消毒

◇浴槽水中の遊離残留塩素濃度を頻繁に測定 【基準值】0.4mg/L以上

(最大でも1.0mg/L以下になるよう努める)

※結合塩素のモノクロラミンを使用する場合

◇浴槽水中のモノクロラミン濃度を頻繁に測定 【基準值】3.0mg/L以上

浴槽に湯水があるときは ろ過装置及び消毒装置を**常に作動**させる

消毒剤の濃度

◇消毒には主に塩素系薬剤が使われます。

pHと塩素系薬剤の殺菌効果

消毒剤を変更してください(注)。

◇入浴者数や水質により濃度が変わりやす いので、基準値の範囲になるよう投入量 を調節してください。

温泉などで水質のpHが高い(アルカリ性)

場合は殺菌効果が下がるため、投入量を多くするか、

大 〈・・・・殺菌効果・・・・〉 小

低く・・・・pH・・・・〉

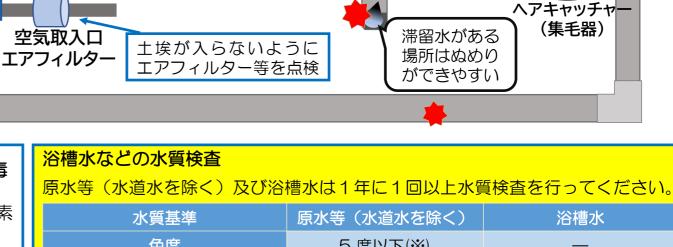
定期的な循環ろ過系統全体の洗浄・消毒

点検・清掃・消毒

配管やろ過器は浴槽水を消毒する塩素 濃度では消毒が不十分です。

定期的に次の洗浄・消毒を実施してく ださい。

- ◇高濃度塩素(5~10mg/L)を数時間 循環 または 60℃以上の湯を数時 間循環させて消毒(週1回以上を目 安)
- ◇専門業者による過酸化水素水等を用い た配管等の化学的洗浄(年1回以上を 日安)



水質基準	原水等(水道水を除く)	浴槽水		
色度	5 度以下(※)	_		
濁度	2 度以下(※)	5 度以下(※)		
Нq	5.8~8.6(%)	_		
過マンガン酸カリウム消費量 ⁽¹⁾ 又は全有機炭素 (TOC) の量 ⁽²⁾	(1)10mg/L以下(※)又は (2)3.0mg/L以下(※)	(1)25mg/L以下(※)又は (2)8.0mg/L以下(※)		
大腸菌	100mL中に 検出されないこと	1個/mL以下		
レジオネラ属菌	検出されないこと (10CFU/100mL未満)	検出されないこと (10CFU/100mL未満)		
(※)温泉や薬湯の場合は一部基準が緩和されます。				

アルカリ性 (注) アルカリ性でアンモニア性窒素が多い温泉浴槽水には、モノクロラミン消毒が有効です。 (ただし、酸性の温泉泉質ではトリクロラミン等の悪臭物質が生じるため、使用できません。

また、モノクロラミン消毒の薬剤は保存がきかないので、現場で生成する必要があります。)

• その他、「公衆浴場法施行条例」、「旅館業法施行条例」、「公衆浴場における衛生等管理要領等について」 (平成12年12月15日付け生衛発第1811号厚生省生活衛生局長通知)等も参考として衛生管理等を行ってください。